

TPP参加反対緊急要請署名にご協力ください

下記「要請書」にご署名の上、FAXでご返信ください

※署名はゴム印でも構いません

***大阪府歯科保険医協会【FAX：06-6568-0564】**

***第1次締め切り 5月14日（火）**

日米両政府は、日本のTPP交渉参加へ向けた合意文書を発表しました。TPP参加は国内の医療分野における規制緩和の動きを加速させます。国民皆保険制度は形骸化・崩壊の危機に直面します。安倍首相は交渉参加表明をしましたが、日本のTPP参加が決まったわけではありません。国民世論を盛り上げ、交渉撤退へと追い込むことが求められています。そこで、保険医協会では、緊急にTPP参加反対の会員署名に取り組みます。政府・国会議員への要請で手渡し、賛同と理解を広げたいと考えます。是非ご協力をお願いいたします。

内閣総理大臣殿、厚生労働大臣殿、国会議員殿

国民皆保険制度を崩壊させるTPPへの参加断念を求める要請書

3月15日、安倍首相はTPP交渉への参加を表明しました。私たち医師・歯科医師は、国民皆保険制度を守る立場から、参加表明を速やかに撤回し、TPPへの参加断念を求めます。

TPP参加によって、①薬価決定過程への製薬企業の参加、新薬の特許保護の強化、②混合診療の全面解禁、③営利企業による病院経営——などを通じて医療が営利化・市場化される恐れがあります。その結果、「いつでも、どこでも、だれでも」安心して医療が受けられる国民皆保険制度が形骸化され、実質的に機能しなくなります。また、TPP協定には、外国の企業の訴えによって国内法やルールを変えさせられる条項等が盛り込まれています。さらに、遅れて交渉に参加する国は、既に合意されている内容を全て受け入れなくてはなりません。政府は「国民皆保険は守る」などと言いますが、これでは守ることなどできません。

以上のことから、私たち医師・歯科医師は、以下の事項の実現を強く要請いたします。

一、国民皆保険制度を崩壊させるTPPへの参加をやめること

私の一言

※ゴム印でも構いません

住 所：

医療機関名：

氏 名：

2013年 月 日

取扱団体：大阪府歯科保険医協会